

1、 本園の教育目標

幼児の心身共に健やかな成長発達を願って、幼児の主体的活動としての遊びを十分に確保し、一人ひとりが遊びを通して興味関心を持ち、試したり考えたりする過程を大切にされた教育を行う。また幼児期にふさわしい生活を展開されるよう適切な環境を用意し、教師との信頼関係に支えられた生活、友達と充分関わって展開する生活がなされるように配慮した教育を行う。

2、 本年度、重点的に取り組む目標・計画

目標・計画	具体的な取り組み方法
① 特別支援教育の理解と充実	年々増える配慮の必要な子どもへの対応として、今年度から年長にも加配教員を配置し、年中組には2名の加配教員を配置することで、全クラス2名ないし3名体制で保育を進めていく。絵カードやタイムタイマーなど視覚支援用品を使ってより伝えやすい方法を探りながら、個と集団のバランスを考えていく。
② 災害・不審者対策および安全管理	地震・火事・津波の訓練は成熟してきているため、引き続き不審者対応に力を入れ、複数パターン行う。 また、津波の際はハザードマップを参考に、人数の多い幼児は小学校への避難を考え、小学校と連携して訓練を実施する。
③ 職員の研修体制	昨年度から新たに31次プロジェクト（名古屋市立大学・上田敏丈教授）に参加し、「園内研修を通しての保育の質向上」について各園の事例を持ち寄りながら学びを深めていく。今年度は対面で近畿地区私立幼稚園教育研究大会で発表も予定している。その他のZOOMや動画配信での研修にも積極的に参加する。
④ 園内研修の充実	昨年度から園内研修を学年ごとの担当制も取り入れ、学びたいことを自ら考え外部講師に依頼したりしながら進めていく。
⑤ 新人育成	今年度は新卒者が2名と乳児クラスからの異動者1名がいるため、再度人材育成に力を入れていく。子ども理解・指導案やドキュメンテーションの作成・支援児の対応など具体的に携わり、園として新人対象の研修を実施し、次年度に向けた準備を丁寧にしていく。預かり保育を担当するうえで支援児の対応で悩む若手職員への指導も必要になると考える。
⑥ 労働環境の改善	新人採用・人材育成・早期離職を防ぐことが業界全体の課題となっているが、当園としても人材育成のみならず、働きやすい職場環境の整備やチームワークの向

	<p>上にも注力し、保育の質向上のためには労働環境の改善が必要であることを意識し、働きたい園・長く続けられる園を目指した環境を整える。具体的には残業のないようパート職員・フリー教員みんなで保育をサポートし、掃除専門の職員を採用するなどすることで、生き生きとした保育が展開できるようにしていく。</p>
--	--

3、 評価項目の達成及び取り組み状況

目標・計画	具体的な取り組み
① 特別支援教育の理解と充実	各クラスに1名ないし2名の加配教員を配置したことで、より丁寧に個人の思いをくみ取ることができ、子どもの安心につながったように感じている。進級後は集団の中で関わりが深めていく姿が見られている。
② 災害・不審者対策および安全管理	不審者対応の訓練を2回行い、子どもに恐怖心を植え付けないよう配慮しながらも実際の事件に備えた行動を行うことができた。 また、津波の訓練として幼児は金田小学校の協力のもと体育館に避難させてもらうことができ、地域連携を視野に入れた訓練を実施できた。
③ 職員の研修体制	幼児主任が31次プロジェクト（名古屋市立大学・上田敏丈教授）に参加し、「園内研修を通しての保育の質向上」について学びを深め、各方面からの反応がよく書籍化することになった。また、対面で近畿地区私立幼稚園教育研究大会で発表も行えた。これに対し、その他の教員による研修の参加率が低下しているため、推進していく必要を感じている。
④ 園内研修の充実	今年度も学年ごとの担当制も取り入れ、学びたいことを自ら考え外部講師に依頼したりしながら進めていくことができた。具体的には同志社女子大学嶋田容子先生やコロコロキッズアートクラブ緒方希先生、兵庫教育大学鈴木正敏先生に来園いただき、講義を受けた。また、園内公開保育を実施し、互いの保育を見合い意見を出し合った。
⑤ 新人育成	担任を持たないベテラン教員によるフォロー体制の構築により、常に質問やアドバイスのできる環境を整えた。
⑥ 労働環境の改善	残業のないようパート職員・フリー教員みんなで保育をサポートし、掃除専門の職員を採用するなどすることで、持ち帰り業務の減少および定時退勤が慣例化してきた。

4、 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められる。

5、 学校関係者評価

①特別支援教育の理解と充実

【回答者A】

サポートの先生が増える事で担任の先生が担任の仕事に専念でき、円滑にすべての子ども達が平等に学ぶ事ができていると思います。

【回答者B】

学校でも支援学級や月1・2回程はなしをする場（通報）などがあります。

私の子も「ワーっ」とおちつきがなくなることがまれにあり、安心や話せる場所があるのは、本人も良いと言っていました。

保護者の方ともたくさん話し個々の特性を考えながらできればいいかと思います。

【回答者C】

計画通りに取り組みをされていると思います。

【回答者D】

とても良い対応をされていると思います。

【回答者E】

配慮が必要なお子さんが孤立してしまわないように加配教員を増やされ、とても良い対応だと思います。

【回答者F】

我が家もアレルギーがありますが、しっかり対応していただけていると感じております。

② 災害・不審者対策および安全管理

【回答者A】

命を守る備えはとても大切だと思います。

いざという時の為、日頃からの訓練をして頂けるのは保護者にとっても安心して預ける事ができます。

【回答者B】

年々増える災害、日々の訓練が大事になってくると思いますし、お家でもみんなでいろいろ話す機会を増やしています。

災害もですが不審者の情報を取り入れつつ地域連携や近所の（家の）方とも連携が大切ですね。

【回答者 C】

計画通りに取り組みをされていると思います。

【回答者 D】

毎月行われている避難訓練は、とても子供達の勉強になっていると思います。実際に小学校へ避難の訓練を実施されたのはとても良いと思います。

【回答者 E】

年々増えていく災害などに備えた行動が身につく、毎月決まったの避難訓練はとても良いと思います。

【回答者 F】

さまざまなパターンの訓練をして頂けていると思います。

③職員の研修体制

【回答者 A】

外部の方の意見を取り入れる事で保育の質向上につながり、園全体の教育力も上がるので良い事だと思います。

【回答者 B】

各園の事例を持ち寄り、意見交換することで学ぶこと、「私だったらこうする」ということが自分で考えることで勉強になると思うので、これからも参加していくことは大切です。

【回答者 C】

書籍化すばらしいです!! 先生方の負担にならない程度に研修お願いします。

【回答者 D】

(無回答)

【回答者 E】

(無回答)

【回答者 F】

園外の研修を取り入れていることで、偏った考えが無くなり、より良い教育体制を構築出来ていると思います。

④園内研修の充実

【回答者 A】

保育方針や指導方法を統一し、クラス毎に差がでない為にとっても重要だと思います。

【回答者 B】

自ら考えることにも限界があるので外部講師や外の人にも意見をもらっていくのは良いです。

互いの保育を見合い意見を出し合うことで「先生一人一人の考えも違うので、「この先生はこう考えているんだ」や「この先生の考えを取り入れてみよう」など、幅が広がるのでいいと思います。

【回答者 C】

通常業務でお忙しい中、園内研修ありがとうございます。

【回答者 D】

(無回答)

【回答者 E】

(無回答)

【回答者 F】

外部講師に入って頂く研修が出来ることが第③項同様、良い取り込みだと思います。

⑤ 新人育成

【回答者 A】

新人の先生が園の方針を汲み取り、子ども達との関わり方を実践を用いて成長する為に必要な取り組みだと思います。

【回答者 B】

常に質問やアドバイスできる、きける環境により理解も早くできる。ノートにたくさんかいてまとめて言っても学ぶことが多すぎて大変なので。

【回答者 C】

常に質問やアドバイスをもらえるのは、新人の方には良い環境だと思います。

【回答者 D】

(無回答)

【回答者 E】

新人教員への配慮等、ベテラン教員のサポート体制がしっかりととれているので、とても良い対応をされていると思います。

【回答者 F】

新卒者を採用されたことで時代にそった教育環境が整っていると思います。

⑥ 労働環境の改善

【回答者 A】

働きやすい職場＝長く働ける職場だと思うので、環境改善はとても大切だと思います。

【回答者 B】

定時退勤が慣例化してきたのは良いです。

【回答者 C】

とても良い取り組みされていると思います。

【回答者 D】

(無回答)

【回答者 E】

離職率が上がってきている中で先生方のご負担が増えないように専門職員を採用されていて良い事だと思います。

【回答者 F】

先生方にも余裕がある環境をつくっていることで、子どもにも丁寧に接して頂いていると感じております。